

合気道部

合気道部は本学の前身である武蔵工業大学時代に、初代主将の窪田育弘先生(現:奈良合気会・京南合気会 師範八段位)により、1963年に発足しました。現在は男女17名の部員が所属し、合気道部OB師範の指導のもと、心身の鍛錬と伝統の継承に励んでいます。

部長
情報工学部
情報科学科3年
坂口侑土さん

副将
情報工学部
情報科学科3年
今井悠輔さん

情報工学部
情報科学科3年
金子優愛さん

情報工学部
知能情報工学科3年
玉田 陸さん

理工学部
応用化学科3年
宮川瑠姫菜さん

情報工学部
知能情報工学科3年
関根彩夏さん

優劣ではなく、和を尊ぶ武道

合気道とは、植芝盛平開祖(1883~1969)が日本伝統の武術を究め、さらに厳しい精神的修行を経て創始した現代武道です。合気道が他の武道と異なる点は、試合(競技)がなく、勝ち負けがないこと。二人が一組となり、取(技をかける人)と受(技を受ける人)に分かれ、交互に技をかけ合う稽古を行い、互いに切磋琢磨し合って、身体と精神の錬成を図る自己錬磨を目的としています。このような理念、精神性から「和の武道」とも称され、欧米では「動く禅」とも評されています。

競技ではないこともあって、本学の合気道部でも、合気道未経験で入部したメンバーが多く所属しています。部長を務める坂口さんも合気道は未経験でした。「私は入学前にYouTubeを観て合気道に興味を持ちました。二人一組で演武を披露する合気道は勝負ではなくとも、流れるような体さばき、技のかけ合いに、すぐに惹き込まれました。入学後、本学に合気道部があることを知り、4月から入部しました」。また日本文化が好きで、華道を学んでいたという宮川さんは、同じ日本の「道」であることから合気道に興味を持ったといいます。「芸道と武道は通ずるものがあるのかな?と、合気道部の体験入部に参加してみると、先輩達の合気道袴の装いや、

美しい所作に感激! 運動が苦手な人でもできると聞いて、入部を決めました」。一方、今回話を聞いた部員の中で、唯一の経験者である今井さんは、次のように話します。「合気道は他のスポーツや武道と違って順位がなく、和合の精神を育む武道。体一つあればできて、お金もかからず、じつは初心者でも始めやすい武道なんです」。未経験で入部した部員からは「合気道の稽古を初めてから、心身ともに健康になった」との喜びの声が多いそうです。



新入生勧誘イベント、スプリングフェスティバルにて。

老若男女を問わず続けられる生涯スポーツ!

合気道部は週に3日、世田谷キャンパスの第4アリーナを道場として稽古を行います。指導するのは本学の前身・武蔵工業大学OBの小山雄二先生(現:公益財団法人合気会 師範 六段位)です。普段の活動以外にも、年に2回の合気道部OBとの稽古があり、近年は筑波大学と千葉大学との合同稽古も行っています。